

加入自治会数 240自治会
 加入世帯数 50,013世帯
 (平成27年2月1日現在)
 発行元 八千代市自治会連合会
 代表者 伊藤禎造
 編集 八千代市自治会連合会
 編集委員会

平成27年3月

第30号

自治連だより

会長あつち



八千代市自治会連合会 会長 伊藤 禎造

日頃、会員の皆様には、各地区、各自治会の活動を通じ、自治会連合会の諸活動に對しご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第29号では、編集委員の総意で組織の紹介を含む長文の会長挨拶となりました。異論もあるとは思いますが、自治連の全体像をお知らせすることも有意義であると思いましたが、掲載いたしました。

さて、第29号から第30号の間に、市政懇談会が10月3日(土)村上地区から10月26日(日)勝田台地区を最後に、昨年より短期間の中で慌ただしく終了しました。

各地区役員を筆頭に各々で議題の凝縮に努めていただいたことに感謝いたします。

提出議題は、全体の約8割が生活に密着した道路に関してであり、市の判断ですぐに答えの出る問題が少なく、膨大なお金のかかる要望が多いのは例年通りで、議題の厳選は今後の課題だと思います。

12月には、市議会選挙と急遽、衆議院選挙が2週連続で実施され、どちらも投票率はあまり芳しく無かったです。これからどうなるか見ていきたいと思います。

また、ふるさと親子まつりが実施に向けて動きだしました。会場の中心は陸上競技場及び現在建設中の市民ギャラリーで、自治連としても最大の協力をしていきたいと思っております。

基本は「安全で、安心して暮らせる八千代市(ふるさと)」を目指して行政を注視しながら、地区役員との連携を密にして地域活性化のために共に邁進していく所存です。今後ともご支援、ご理解をお願いいたします。

近隣七市会議

松戸・習志野・八千代・浦安・鎌ヶ谷・船橋・市川の7市による住民自治組織代表者会議が平成27年2月26日10時から松戸市森のホール21で開催されました。

テーマは「防災72



時間対策について」で、各市住民組織に係る防災への取り組み等を意見交換しました。各市の発表だけでかなりの時間を要し、時間が足りなかつた感も否めませんが、有意義に情報交換ができました。

中でも、東日本大震災で多くの被害に遭った浦安市が「むやみに外へ出て、すぐに避難所へ行くの

ではなく、まずは自宅で様子を見てほしい。自助への意識付けがかなり重要だ」という発言は印象深いものでした。

今回は、習志野市で開催される予定では、避難タワーはお年寄りや要介護者が車椅子でも利用できるように、らせん状のスロープが備えてあり、救命具として浮輪も用意してあります。

視察研修会

平成26年9月12日(金)に防犯組合連合会と合同で研修会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、東日本大震災の津波で大きな被害を受けた旭市へ行きました。

まず、ガイドさんの話を聞き、震災当時の写真や資料を見せられました。

その後、仮設住宅の内部を見て、平成25年4月に完成した避難タワーを見学しました。

避難タワーはお年寄りや要介護者が車椅子でも利用できるように、らせん状のスロープが備えてあり、救命具として浮輪も用意してあります。

各地区だより

各地区で市政懇談会が行われました。

大和田地区

平成26年10月25日(土) 大和田新田下区公会堂

大和田地区は、特に関心が高い次の4項目を要望事項として市側と懇談しました。

要望事項① 旧農業研修センターを大和田コミュニティセンターとして活用させてほしい
 回答 コミュニティセンターについて「八千代市地域コミュニティ推進計

画」(平成23年策定)に基づいて検討しておりますが、現在市では公共施設の再編に向けた取り組みをしており、八千代市公共施設再配置等推進委員会及び八千代市公共施設再編検討・検証委員会等での検討結果を踏まえた上で各地域の実情に応じた同施設の在り方を考えて参る所存です。

ただし、旧農業研修センターは、公共施設再配置等推進委員会での検討を経て売却する方針が決定しております。

要望事項②

八千代1号幹線(小板橋地区)の水害等抜本対策について

回答 溢水対策は、何点かに分かれますが、おおむね次の通りです。

第1点目。高津調整池の容量拡大工事は、早期完成に向けて施行中です。

第2点目。「八千代1号幹線水理解析(検証)業務委託」の結果、大和田南小学校に調整池を設置し、浸水した内水を処理するために京成軌道から南側へ排水する雨水新設管を整備する方法が有効と考え、関係機関と協

議し、今年度中に同対策の基本設計を策定します。

第3点目。以上の諸施設が完成するまでの間、水位警報装置の適切な管理や内水ハザードマップの作成等を行い、ソフト面での対応を進めます。

第4点目。船橋市・習志野市に關係した部分については、千

要望事項③

自然災害時における八千代市及び自治会の具体

的に対応の在り方について
 回答 昨年4月、避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインが、内閣府で作成され、本市もそれに基づいた対応を図っております。具体的には、避難は災害から命を守るための行動であること、基本的には、従来の避難所への避難



八千代で生まれた世界の氷 コクボの

ロックアイス



小久保製氷冷蔵株式会社

本社 千葉県八千代市村上1739-4 ☎047(484)1169(代表)

ロックアイスは小久保製氷冷蔵(株)の登録商標です。



5/17

27年度自治会連合会総会のお知らせ
 平成27年度の自治会連合会及び防犯組合連合会の総会は5月17日(日)八千代市役所内の会議室で行う予定です。

だけでなく家屋内に留まって安全を確保することも避難行動の一つであることや避難勧告等は、空振りを恐れず早めに出すことなどを心掛けて対応を図ることにしております。

自治会、自主防災組織の方々において

でも、自助、共助の大切さを理解して頂き、浸水被害、ケガ等の対策など、地域で協力して実施して頂くようお願いいたします。

要望事項④ 歩道分離式信号機設置後の検証について

回答 ご指摘の萱田南小学校先と八千代緑が丘付近高架下にある歩道分離式信号は、設置後渋滞等の苦情はなく、事故の報告もありません。歩行の安全性が保たれ、設置の効果があつたものと考えております。(この項は八千代警察署交通課より)

高津・緑が丘地区

平成26年10月5日(日) 高津団地第1集会所

1. 環境と安全問題

①強風時に公園樹木の倒木の危険性が大きい。定期点検・枝

落しの実施を要望

回答 公園の樹木は月に一度定期点検を行っており、台風等は事前に適宜点検を行っております。高木の剪定は11月末までに行う予定です。

②大雨によって「眼鏡市場」商店前道路の冠水、U字溝が土砂でうまる。近隣住民が大変困っている。早急に対策を講じてほしい

回答 道路排水施設は機能不全とならぬよう、維持管理に努めます。

③八千代2号幹線水路(高津団地中央部を高津調整池に流れ込む水路)の浚渫と周辺の除草を要望

回答 水路上部の除草は毎年市職員が行っており、9月に実施しました。水路内の堆積土砂は、今まで堆積状況を見ながら撤去をしておりますが、近年行っていないため、土砂が堆積し草が繁茂してあります。

このため堆積量が

多く水路の流れに支障をきたす箇所は、今年度土砂の撤去を実施します。

来年度から業者委託により定期的に浚渫作業を行いたい

考えています。

④敷地内防犯灯のLED化に向けて、補助金の支給を要望

回答 市では3年に一度補助金の見直しを行っております。市に移管されていない集合住宅が管理する防犯灯のLED化に向けての補助金交付については規定が可能かどうか27年度までに検討します。

2. 道路と交通問題

①自治会前道路の全面補修を要望

回答 西八千代つづじヶ丘自治会の前面道路は、平成24年に舗装補修をしたところですが、今後も舗装の劣化状況等について経過観察をしたいと考えています。

②東葉高速鉄道の運賃値下げを要望

回答 東葉高速鉄道は、現在でも2800億円を超える巨額の有利子負債を抱え、利払い等により経営が圧迫され開業以来経常赤字を続けています。

平成22年度からは金利低下の影響で経常赤字を計上しておりますが平成25年末現在でも累積赤字が818億円余、債務超過も290億円余という状況です。

一昨年度のありました通学定期の割引率については26年4月から引き上げを実施してはいますが、運賃の値下げについては、収入減少の影響が大きく、この点を考慮すると難しい状況です。

最大の要因である長期有利子負債の返済については、国をはじめ千葉県、船橋市、八千代市、東京メトロによる増資や利子補給によって会社の自立に向けた支援の下で、繰上償還などを実施しています。

金利緩和などが会社の経営改善や、高料金対策に有効な一手となるものとして

国などに対しての要望を続けている状況です。



睦地区

平成26年10月25日(土) 新島田自治会館

1. 島田台交差点の

渋滞解消に向けての進捗状況にて

回答 島田台交差点の拡幅工事は、県の事業として実施されており、県土木事務所に確認をしたところ、関係地権者と用地交渉を進めているとの事です。

2. 上下水道の普及は何処まで進んでいるか。睦地区全体の今後の予定は

回答 上下水道は睦浄水場から配水し、睦地区約3、100世帯のうち約2、000世帯に給水しています。水道管は、主な道路には埋設をしていますが、佐山、平戸、神久保、桑納川周辺、小池、真木野、島田の北部などには水道管が埋設されていません。

3. 睦小中学校の通学路の道路整備と小学校正門の道路拡幅について

回答 島田台平戸線の平戸から国道16号までの区間については計画的な整備の為に、今年度に詳細設計を実施してまいります。現段階で全ての区間整備は難しい。今後整備に向けて努めてまいります。

小学校の正門付近については道路の境界査定及び用地確保等を要する事から早期の整備は困難であると考えます。

4. 睦小中学校の通学路の歩道の設置

は、22年度の八千代市公共下水道全体計画変更に伴い、「特定環境保全公共下水道」に位置づけたことにより、下水道としての整備が可能ない地区となりました。

27年度に千葉県において都道府県構想を行うため、八千代市の整備方針の見直しを図ります。現在の市街化区域の整備が概ね完了してからの整備となることや、事業認可の手続き等に時間を要する為、工事に至るまでは長時間かかるものと考えています。

3. 睦小中学校の通学路の道路整備と小学校正門の道路拡幅について

回答 島田台平戸線の平戸から国道16号までの区間については計画的な整備の為に、今年度に詳細設計を実施してまいります。現段階で全ての区間整備は難しい。今後整備に向けて努めてまいります。

小学校の正門付近については道路の境界査定及び用地確保等を要する事から早期の整備は困難であると考えます。

4. 睦小中学校の通学路の歩道の設置

いては、新たな用地確保を要する事から早期の整備は困難であると考えます。

5. ゴミ集積場所の、立て看板の創設

回答 清掃センターでは、集積場所において、収集日看板破損の連絡を受けた場合、随時交換をしております。睦地区でも看板交換が可能ですので、ご連絡頂ければ、交換致します。

6. 今年度、市内で初めて防犯カメラが数十台設置されますが、今後の設置予定は。又自治会で申請されれば検討する可能性は

回答 犯罪の発生防止及び発生した場合の早期犯人検挙につなげる事を目的とし、警察署と協議を行い、人の往来が多い6駅周辺に20台の防犯カメラを設置する予定です。

今後の防犯カメラの設置予定又自治会からの申請については、不特定多数の人々が集まり、犯罪が多く発生している地域の道路等に関して、警察署の意見を聴いた上で防犯カメラ設置の検討をしたいと思います。

人通りが少なく犯罪等の発生が少なく

い住宅地等に防犯カメラの設置は難しいものと考えます。

として方針が定まった後、市長部局等と協議を開始したい。

2. 道路交通関係

②米本南小学校通学路の児童に対する安全確保対策について

回答 現在、スクーリングガードにより安全の見守りを実施中。小学校の東側にスロープ又は階段の設置が可能かどうかは、急斜面であり、どのような勾配であれば対応可能か、業者と現地に調整協議をし、可能性並びに費用面について調査中である。可能性等、判断ができた折には、ご報告したいと考えているので、しばらくは、スクーリングガードによる安全確保を継続していきたい。ご理解をお願いします。

②外周道路の工事が26年度完成予定となつているが、工事開始の気配がない。如何なっているか。

回答 発注に向けた設計中で、年度内の完成を予定してまいります。

阿蘇地区

平成26年10月11日(土) 米本南自治会ホール



1. 教育環境関係

①小中学校の適正配置検討について

回答 阿蘇米本地域では、25年度末より延べ9回、自治会長等、地域で活動している団体に説明を行った。今後は、学校の保護者や住民に対し、現状を説明するとともに、ご意見を伺う会を開催する。その後、出された意見を適正配置検討委員会に報告し、今後の方向性を定めていきたい。

教育委員会と行政の関わりについては、学校適正配置検討委員会より、適正配置の進め方の答申を受け、教育委員会

として方針が定まった後、市長部局等と協議を開始したい。

2. 道路交通関係

②米本南小学校通学路の児童に対する安全確保対策について

回答 現在、スクーリングガードにより安全の見守りを実施中。小学校の東側にスロープ又は階段の設置が可能かどうかは、急斜面であり、どのような勾配であれば対応可能か、業者と現地に調整協議をし、可能性並びに費用面について調査中である。可能性等、判断ができた折には、ご報告したいと考えているので、しばらくは、スクーリングガードによる安全確保を継続していきたい。ご理解をお願いします。

②外周道路の工事が26年度完成予定となつているが、工事開始の気配がない。如何なっているか。

回答 発注に向けた設計中で、年度内の完成を予定してまいります。

が、暫定的な路肩補修は、今年度中に施工予定。

3. 生活環境関係

①阿蘇地区の活性化について(高齢者対策)

回答 阿蘇地域の高齢化率は、平成26年4月1日現在、33.9%

②生活排水路の設置要請(U字溝の設置要請)

回答 八千代GC入口付近から下高野341-1付近まで、21年度に管渠整備が完了している。

③阿蘇公民館にAEDを設置出来ないか。

回答 AEDは大和田・勝田台・八千代台・八千代台東南・緑ヶ丘公民館に1台ずつ設置。なお、阿蘇公民館も、今年度中の設置を考えている。

また、平成26年7月1日現在の特別養護老人ホームの待機者数408人のうち、阿蘇地区は35人で8.6%を占める。平成26年4月1日現在の高齢者人口44,138人のうち阿蘇地域は3,466人で7.9%なので、高齢者人口比からは多少高い。

特別養護老人ホームの整備数は、介護保険事業計画で定め

ることが法律で決められており、現在、整備数を検討中。

施設増加は保険料上昇に影響するため、県の指針に基づき緊急性が高い方を見極め、必要な施設数を整備する。

村上地区の市政懇談会は以下の事項について懇談いたしました。(スペースの都合上、回答は一部省略しています。)

テーマの中で、印象深いのが財政の健全化と少子高齢化対策です。人口減少と高齢化により市税の大きな伸びは期待できないと考えられ、いかに若者を定住させる魅力ある市にするか考える必要があるかと思われました。

1. 市政・教育

(1)想定外の災害に対応出来るものと避難場所等より詳細なハザードマップの作成

回答 現在作っているマップには、情報が変更・更新した際に、見直していきたい。

(2)交流の場や防災上を考慮し、十数年前から希望しているコミュニティセンターの新設をお願いしたい。

回答 公共施設再配置等推進委員会等の検討結果を踏まえ、各地域の実情に応じたコミュニティセンターのあり方を考えたい。

(3)財政健全化の考え方

①歳入と歳出について

②市民団体・事業者への補助金等のあり方について

③主要財源の今後の見通し

村上地区

平成26年11月16日(日) ふれあいプラザ

④歳入と歳出について

回答 支出をその年度の税収等で賄われているかの指標となるプライマリーバランスにおいて26年度は赤字が見込まれる。今後、中長期的な視点のもとで、財政健全化に努めていく。

⑤図書館へのアクセス

回答 生涯学習への関心が高まり、地域図書館の再生・バックアップ等に対応するため、中央図書館を設置する。

⑥新設市立図書館について

①目的と意義

②運営に係わるコストと対策

③想定利用者数

④現在ある図書館の処遇

⑤図書館へのアクセス

回答 生涯学習への関心が高まり、地域図書館の再生・バックアップ等に対応するため、中央図書館を設置する。

で、地域図書館の必要性も考えているが、試算で27年度に約35億円、28・29年度に約17億円の歳出超過が見込まれ、「財政リスク回避戦略2014キックオフ」を宣言した。

図書館ワークシヨップの結果を受け、今後の方向性を判断したい。

電車の場合は、村上駅からは徒歩10分。八千代中央駅からは徒歩15分で、駐輪場を185台分、駐車場は、約380台分を千葉県が整備する。

バスの方は、路線バスが運行しているが、今後は、施設前に停車するよう要望したいと考えている。

回答 現状で全面的な道路改良工事の計画はないが、部分補修については随時対応していく。

4. 防衛省添いの歩道の拡幅

回答 都市計画道路3・4・6号線として位置付けており、幅整備となると、当該路線の未整備区間なので、事業認可を取得し街路事業として整備を行いたい。

しかし現在、他路線の整備を進めており、事業化の具体的なスケジュール等ありません。

5. 八千代台駅周辺地区に防犯カメラ設置

回答 防犯カメラの設置は犯罪の発生しにくい環境整備を図り、犯罪等の発生防止と発生した際の早期犯人逮捕に繋げるため、八千代警察と協議を行い、市内6駅周辺に20台を設置予定です。八千代台駅周辺は10台設置予定です。

6. 昨年の台風26号被害に關しサイレンの点検に手抜きがあり車の水没等の被害が広がったと考えられる。人災の側面が強く、家屋補償とは別に車の見舞金を出して欲しい

回答 現状で全面的な道路改良工事の計画はないが、部分補修については随時対応していく。

回答 都市計画道路3・4・6号線として位置付けており、幅整備となると、当該路線の未整備区間なので、事業認可を取得し街路事業として整備を行いたい。

しかし現在、他路線の整備を進めており、事業化の具体的なスケジュール等ありません。

回答 防犯カメラの設置は犯罪の発生しにくい環境整備を図り、犯罪等の発生防止と発生した際の早期犯人逮捕に繋げるため、八千代警察と協議を行い、市内6駅周辺に20台を設置予定です。八千代台駅周辺は10台設置予定です。

6. 昨年の台風26号被害に關しサイレンの点検に手抜きがあり車の水没等の被害が広がったと考えられる。人災の側面が強く、家屋補償とは別に車の見舞金を出して欲しい

回答 市では、八千代1号幹線氾濫の最大要因は設計雨量を超える大雨が原因とされており、今回の被害に關しての直接的な補償責任は発生しないものと判断している。しかし、設置されていた水位警報装置の点検不備によりサイレンが鳴らず人的ミスについて、これまでお詫びするとともに、反省を踏まえ運用に万全を期す事はもちろん、1号幹線の災害対応と浸水対策を最優先課題とし全力で取り組めます。

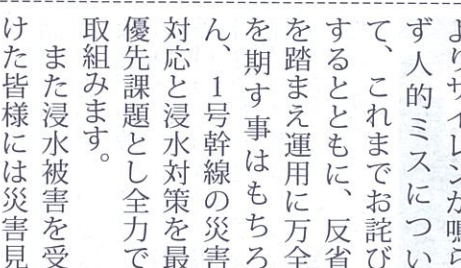
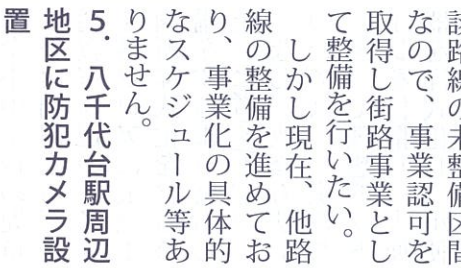
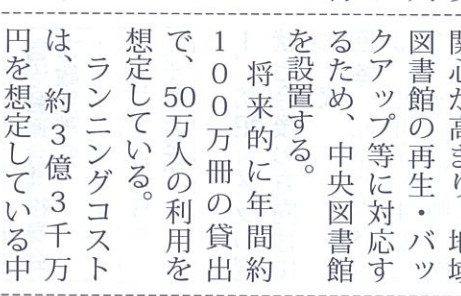
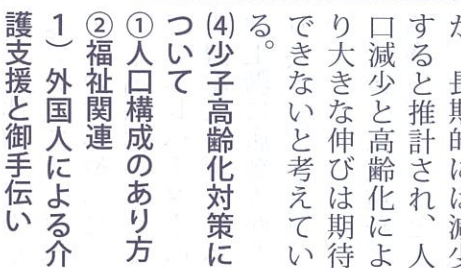
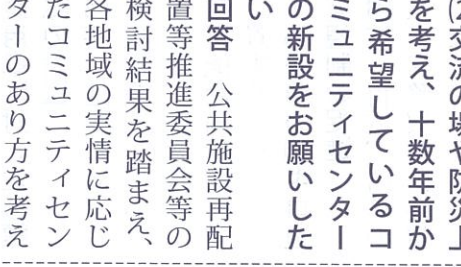
また浸水被害を受けた皆様には災害見

舞金等の支援制度や上下水道料金の減免をさせて頂き、「八千代市台風災害特別給付金」を3月17日から5月16日の期間で手続きを頂き、支給しました。

ご要望の「家屋補償とは別に車に係わる見舞金」ですが、今回の給付金では「その他被害」として浸水による自動車その他の物(市長が別に定めるものに限る)として車の浸水被害を対象に加えたものです。

サイレンの考え方は、「サイレンの点検に手抜きがあり車の水没等の被害が広がったと考えられる」との事ですが、目的はあくまでも警戒水位に達した事を知らせる為に設置したもので車等の移動を対象としたものではなく、そのような合意もありません。

また浸水被害を受けた皆様には災害見



んでした。

サイレンは究極的には人命を守る為の手段と考えており、8月10日の3回目の説明会でお話した通り、新たな支援としての見舞金は考えていないが、浸水対策について皆様のご意見を伺いながら引き続き取り組みたい。

7. 防災ラジオが聴こえない。バッテリーも短命、役立っもの出して

回答 色々問題もある事は承知しているが、根本的な解決が難しい。お申出を頂いた所は、職員が出向き確認しております。

勝田台地区

平成26年10月26日(日) 勝田台会館

1. 都市計画道路 3・4・12号線及び 3・4・1号線の開通に伴う諸問題について

や現行の40キロ速度規制の継続等は所轄である八千代警察署に市としても強く要望。勝田台方面から国道16号線の2車線化は多額の整備費用等を要することから難しい。

勝田台2号線の街路樹剪定は開通前に実施。道路照明は交差点に設置する。通学路の安全対策は教育委員会及び警察と連携して安全対策を図る。千葉銀行から16号線方面含むエンジン通りの防犯灯は20灯を増設予定。都市計画道路3・4・1号線について、道路測量、予備設計を実施して、関係機関との調整を行い、事業化に向けて努めている。

2. 生活環境の改善を要望

県立八千代高校より 雨水排水方法の改善

回答 学校用地の雨水排水処理に不具合があり、道路冠水の原因となっている場合、当事者と改善策を協議することを考えている。

3. 総合的な安全対策の実施を要望

①勝田台南部新造成地、みはる野団地から勝田台駅に向かう

乗用車に対し注意標識の設置

回答 速度に対する看板は設置しておりますが、引き続き設置可能な箇所を見て設置する。

②85号線の30キロ速度規制の促進

回答 再度、所轄の八千代警察署に要望した。

③水道道路の(3号線) 改修工事

回答 今年度、車道部の舗装補修工事を実施、歩道部は計画がないが、必要な箇所は部分補修により対処する。

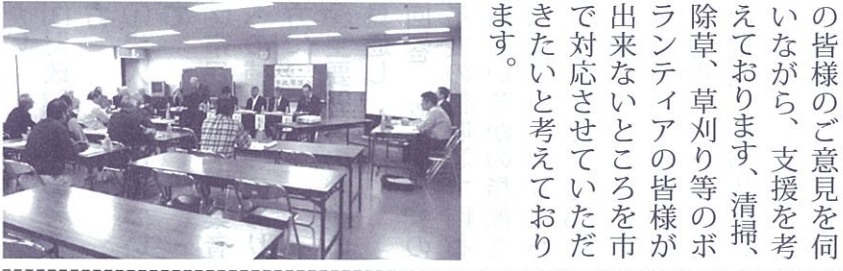
④勝田台公民館から勝田にぬける道路に歩道設置

が、具体的な計画がない状況です。車椅子への対応やベビーカーの利用を考えた、エレベーターの設置を要望すると、地上階に店舗等があり条件的にも難しい。

今後京成電鉄と協議を続けるとともに、市としても手法について検討を考慮する。

5. 勝田台中央公園の里親制度の里親への支援及び今後の市の方針

回答 西岡様をはじめ、ボランティアの皆様には、ありがたう考えております。今後はボランティアの皆様のご意見を伺いながら、支援を考えております。清掃、除草、草刈り等のボランティアの皆様が来ないところを市で対応させていただきたいと考えております。



自治会連合会役員会 市政懇談会

平成27年1月23日(金) 八千代市役所

1. 防犯カメラの現状と今後の方向性について

回答 防犯カメラは、犯罪が発生しにくい環境整備を図り、犯罪等の発生防止と、発生した場合の早期犯人逮捕につながることを目的に設置するものです。設置箇所及び台数については、八千代警察署との協議の結果、八千代台駅西口交広場周辺に4台、八千代台駅東口交広場周辺に6台、大和田駅周辺に2台、勝田台駅北口交広場周辺に2台、勝田台駅南口交広場周辺に3台、八千代中央駅周辺、八千代中央駅周辺、村上駅周辺には、各1台ずつの計20台を設置予定です。

2. 学校の施設整備

について (1)現状と今後の計画について

回答 現在、耐震改修を最優先に取り組みしており、小中学校の耐震改修計画については、平成20年度から工事を始め、屋内運動場は、平成24年度で19校すべて完了している。

校舎については、平成22年度から工事を始め、9校が完了しており、今年度に7校、来年度に9校を完了する予定です。

また、耐震改修と併せて大規模改造(屋上防水・外壁・トイレ等)を行い、教育環境の向上を図っている。

(2)トイレの改修が必要ではないか

回答 小中学校のトイレ改修については、実施に向けた整備改修計画(第1次)を平成25年9月に策定している。

計画では、耐震改修工事に際し、トイレの構造体の改修を要する場合、及び実施設計の段階で耐震改修工事と併せて改修できる場合を含め、平成28年度まで

に全小中学校の児童が普段利用する、普通教室周辺のトイレを各フロアに最低1箇所洋式化を含む整備をするよう努力したいと考えている。

なお、改修方法については、子供たちにとって理想的なトイレを目指し、大便器を洋式化し、小便器は自動洗浄式に、また、床を乾式化し、天井や壁、給排水配管なども含めた全面的な改修を実施している。

(3)エアコンの設置について、どう考えるか

回答 エアコンの設置については、主に保健室・パソコン室に設置しているが、音の問題から窓が開けられない音楽室などの特別教室や、夏休み中でも使用する職員室などで未整備のところがあり、耐震改修工事等の際、状況を判断し、設置しているところ

普通教室のエアコン設置については、多額な事業費を要するため、国庫補助である「学校施設環境改善交付金」の活用を前提として考えているが、現時点では、今般設置した「暑さ対策検討委員会」で夏休み期間中でも執

務する部屋等の管理諸室への設置も考える必要があるのでは、多数の意見があったことから、本委員会での意見、報告等をもとに、学校現場の暑さ対策の方向性を決定していきたいと考えている。

編集後記

今号の編集時に、行政側で市の27年度予算案が決定し、自治連への補助金が年30万円から20万円に減額される予定です。試算で27年度は35億円、28・29年度は約17億円の歳出超過が見込まれ、「財政リスク回避戦略2014キックオフ」を宣言するなど、厳しい財政状況の中で繰越金額が膨大(約80万円)であるという主な理由の説明でした。自治連としては、この「自治連だより」を年2回発行するため、広告を一般企業から募って発行の足しにして、会員の方々に届けておりますが、近年、發送料金が上がっていることが懸念材料であり、今後どうしていくかを地域の役員さんと協議しようと思っていた矢先の10万円減額ということなので、どういう形で自治連だよりを発行していくかは検討課題かなと思います。

また、集會施設を管理している自治会への運営補助金の廃止が予定されており、やはり財政状況が厳しく、防犯灯の市への移管により各自治会の負担が減っていることが主な要因とされています。しかし、集會施設を管理している71団体の中には、今後の自治会活動に大きく響いてくると頭を悩ませている団体もあるため、市で決まってしまったことを覆すのは非常に難しいことではあります。補助金を復活してもらえよう働きかけていければと考えております。

今後も会員の皆さんのお力添えをいただきながら、取り組んでまいりたいと思っております。より一層のご協力をお願いいたします。